

研究課題名 「リボゾームの発現とグリオーマの悪性化」

① 研究目的および方法

グリオーマの中で低悪性度ものから最悪性の膠芽腫においてリボゾームの発現によるグリオーマの悪性化について解析し、新規治療法の開発を目指した研究です。

手術により摘出した腫瘍組織の中で、腫瘍本体部分、境界部分、腫瘍細胞が少なく正常に近い部分の組織を用いて、再発が多い境界部分で特徴的に変化する分子を検討し、再発を抑える新規治療法の開発を目指します。一部の摘出膠芽腫組織からは RNA を抽出したり、免疫染色などによる検討を行います。

② 利用する試料・情報の項目

本研究は、手術により摘出した膠芽腫組織、および以前に摘出され、当院で保存している膠芽腫病理標本を用いて行います。研究のために、新たに組織や血液の採取などは行わないため提供者の方に危険や不利益などの負担が生じることはありません。臨床情報などは一切使用いたしません。2010 年から現在までの約 40 例の腫瘍摘出標本を使用します。

脳腫瘍組織や病理標本は匿名化して研究を行いますが、個人情報漏洩が無いように厳重に管理しております。

③ 利用するものの範囲

本研究は熊本大学生命科学研究部の脳神経外科で行います。摘出した脳腫瘍組織と以前に摘出され、病理診断に用いた組織などを再利用します。本研究は摘出膠芽腫組織や病理標本を使用しますが、本研究の内容は当院の倫理委員会にて承認されております。

④ 利益相反について

本研究は、国から交付された研究費によって行われます。本研究に携わる研究者は公正に研究を遂行し、研究結果に影響を及ぼすような利害関係はありません。

当科で手術を受けられたご本人もしくはご家族の方で、膠芽腫組織や病理標本などを本研究に使わないでほしいというご希望があれば、下記までご連絡ください。研究への使用をお断りになられても、当院における診療、その他に何ら影響はなく、不利益の恐れもありません。

● 照会および研究への利用をお断りに場合の連絡先

熊本大学医学部附属病院脳神経外科
秀 拓一郎
住所: 熊本市中央区本荘 1-1-1
電話: 096-373-5219
FAX: 096-371-8064